

連続テレビ小説「あんばん」放送に向けて

① キッチンカーの出店者を募集します！

観光客の増加が見込まれる香北町「道の駅美良布」周辺で、食の提供を充実させるために、4月からキッチンカーで出店をしていただける方を募集します。出店場所や出店料、申込方法などの詳細が決まりましたら、香美市ホームページや、あんばん室のInstagramなどで改めてお知らせします。

【問い合わせ先】香北支所 ☎0887-52-9285

② お弁当などの販売者を募集します！

「あんばん」の効果で来客数が増えている香北町美良布地区では、お弁当や食事場所を探す観光客が多く見受けられます。「美良布直販所」では、お弁当が売り切れることもしばしばあります。そこで、「協同組合 葎生の里」に加入(年会費:3,000円)して、美良布直販所でお弁当やサンドイッチなどを販売していただける方を募集しています。ご興味のある方は、協同組合 葎生の里にお問い合わせください。

【問い合わせ先】協同組合 葎生の里 ☎0887-59-3156

③ 「おもてなし一斉清掃」参加者募集！

「あんばん」放送に向けて、やなせたかし記念館を中心に香北町美良布地区を清掃して観光客をおもてなしする「おもてなし一斉清掃」の参加者を募集しています。一緒に美良布のまちをきれいにしましょう！

◎日時：1月23日(木) 14時～ / ◎集合場所：保健福祉センター香北

【問い合わせ先】香北支所 ☎0887-52-9286

④ 「うえるかむトイレ」にご協力ください！

市外から訪れる方が多くなることが見込まれるため、観光客にトイレを無償で貸していただける「うえるかむトイレ」の協力店舗・事業者を募集します。ご協力いただける店舗・事業者の方には、認定店用のぼり旗をお貸ししますので、観光客の呼び込みなどと合わせてご協力をお願いします。詳細は、香美市ホームページをご覧ください。 <https://www.city.kami.lg.jp/soshiki/80/welcometoilet.html>

【問い合わせ先】企画財政課 ☎0887-53-3114

⑤ 商品で香美市をPRしてくれませんか？

販売する商品に、香美市を紹介するチラシなどを同封していただけませんか？キービジュアルを活用したり、ふるさと納税のことを載せていただける事業者の方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください！

【問い合わせ先】企画財政課 ☎0887-53-3114

⑥ 「ものべすとサポーター」募集中！

やなせたかし先生ゆかりの地となる、ものべがわエリアの観光博「ものべすと」(3月29日～令和8年2月8日)では、博覧会を応援していただけるサポーターの方を募集しています！活動内容は、SNSでの発信や広報のお手伝い、イベント補助、清掃活動、装飾づくりなど、やなせ先生が残した「人生は、よろこばせごっこ」を合言葉に、ものべがわエリアを訪れる観光客の皆さんへのおもてなしに関する活動を行います。事業者や団体、グループ単位での参加も可能ですので、ぜひご参加ください！

【問い合わせ先】物部川エリアでの観光博覧会実行委員会事務局 サポーター係

☑ monobest_sp@monobegawa.com

こちら、あんばん室！

vol.6

第2回 やなせ先生とゆかりのある方々のご紹介

今回は、村山龍一さんです。村山さんが県庁職員時代に、やなせ先生を「まんが甲子園」の初代審査員長にお迎えした当時のお話を伺いました♪

Q：やなせ先生を審査員長にお迎えされた経緯は？

A：高知は多くの有名漫画家の出身地ですので、県のイメージアップにつなげようと、漫画がテーマの「あったか高知まんがフェア」を昭和63年から開催していました。平成3年は事情があって、開催時期を例年の夏から秋に変更しようとしたのですが、県内高校生から「体育祭や文化祭で忙しいので秋だと参加できない」と猛反発がありました。当時の高校生が新聞への投書や署名活動を行い、その情熱が県を動かし、夏休みに開催する「まんが甲子園」が、翌年の平成4年から始まることに決まりました。

ただ、肝心の審査員が決まっておらず、誰が適任か頭を悩ました私は、それまで「まんがフェア」でお世話になっていた方に相談したところ「コマまんがもストーリーまんがも描かれていて、お人柄も素晴らしいやなせ先生が適任です」と推薦いただきました。



Q：やなせ先生に最初にお会いした時のことを教えてください。

A：新宿の先生のスタジオにお伺いしました。その時お茶を出してくださった方が、もしかしたら先生の奥様の暢さんだったかもしれません。「8月開催予定のまんが甲子園の審査員長をお願いします！」とお願いすると「高知の夏は暑いから、いやだなあ」と言われ、あきらめかけた直後、先生が私たちの企画書に目を通して心が動いたのか「1回だけだぜ？」と快く引き受けてくれました。

そして「俺だけじゃイヤだから、みんな(他の漫画家)にも声をかけておくよ」と、日本を代表する先生のお名前を次々と挙げられました。

Q：その後のエピソードを教えてください。

A：やなせ先生のお声がけのおかげでビッグネームの先生方が快く審査員を引き受けてくれましたが、謝金の交渉をしていませんでした。そうそうたる先生方に、謝金をどれほどお支払いしたらいいのか、新たな悩みが浮かびました。当時、県内にまんが審査の謝金の事例はありましたが、こんな金額でいいのかと。私はやなせ先生に、ためらいながら謝金の交渉で電話をかけて、呼び出し音を1回2回と鳴らして「やっぱり、今日はやめておこう」と電話を切りました。これを数日続けると、突然先生が私の電話に出られたので、意を決して県内事例の金額をお伝えしたところ「いいよ」とあっさり。お金なんかまったく気にしていないようで、私の悩みは本当に取り越し苦労でした。おかげで、他の先生方も同じ金額でお引き受けしていただきました。

Q：「あんばん」放送について一言お願いします！

A：もちろん楽しみにしています。このドラマを通して、高知県がこれまで以上に有名になって、飛躍することを期待しています！

まんが甲子園の貴重なお話を聞くことができました。村山さん、本当にありがとうございました！